

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14
電話 (243) 0141

12 年10 月22 日

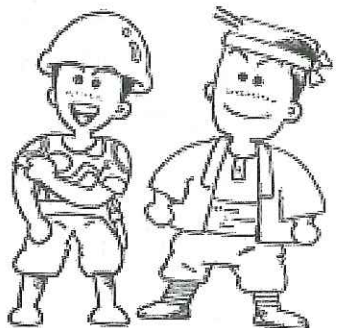
新潟市健幸すまいリフォーム支援事業

予算の残高あと七千四百万円

年内の営業で仕事を確保しよう！

新潟市健幸すまいリフォーム支援事業の活用がすみ、一〇月二二日現在で、三億円の予算の残高があと七千四百万円（二〇万円平均で二七〇件）となりました。この制度は、来年の三月一五日までに工事が完了し請求しなければならぬので、年内に申し込まないと間に合わなくなります。今営業し冬場の仕事を確保しましょう。西地域では、民商の会員の建築業者がこの制度を使い仕事を確保しています。

西内野支部の平野建築さんは、様々な市の制度の勉強会に参加し仕事を受注しています。三月からスタートしたエコリフォーム支援事業では三件工事しました。このたびの制度でも、外壁・雨どい・屋根の修理工事に、玄関やふる場に手すりをつける工事を追加して二件の工事を受注、まだ要望があるのだが、工事が間に合わないとのこと。同じく西内野支部の建築業者は、台所・風呂場の全面改装にこの制度を活用、三世代同居で九四〇万円の工事に對し、四〇万円の助成を受けます。「消費税が上がる前でこの制度があるのがチャンス」お客様に働きかけ仕事を獲得しましょう。



商売繁盛 夢を語ろうナイスタイム！

誰でも参加できる！

第四回名刺交換会

七月に三業会館で行われた第二回・名刺交換会の参加者からは『異業種の人の話から商売のヒントを得る事が出来た！』『先輩業者のやる気、パワーが伝わって来て大変刺激を受けた』『業者青年も多数参加していたので活発に交流できて楽しかった！また参加したい。』などの声が多く聞かれました。名刺交換会実行委員会で第四回目の名刺交換会を開催することを決定致しましたのでお知らせします。

日時 12月 9日(日)
15:30~18:30

会場 ホテルダイヤモンド新潟
地下一階、宴会場

会費 4,500円(飲食費込)

※駐車場有り

何が争点？ 10/21投票県知事選

1. 原発問題

現職の知事は、8年前の中越地震の直後に就任し、また柏崎の中越沖地震も経験し、その復興のために数々の提言をしてきました。昨年の東日本大震災と福島原発事故を経て、全国で「原発ゼロ」の国民世論が高まっているにもかかわらず、「福島事故の検証が先」と言うだけで、柏崎刈羽は廃炉を明言しないどころか、「廃炉は無責任」と言う始末です。県民の不安や安全に背を向ける姿勢を表明したものと云えます。

2. 消費税増税問題

現知事の県内産業政策は、企業誘致と「海外市場における事業支援」などで、地域の中小・地場産業はそっちのけです。中小企業の経営をさらに圧迫する消費税増税問題に関心はありません。

3. TPP問題

現知事はTPP参加に賛成で、「自由貿易を促進する方向を目指すのが日本の国益だ。コメだけは許してもらえばいい」と実現不可能なことを言って、無責任な態度です。

選挙も終盤ですが、以上のことを広く回りの人に急いで知らせましょう。

駅前支部

天気よし、味よし、
買い物よし、共済よし

三川温泉・共済学習旅行

九月三〇日(日)、三川温泉・「日帰り共済学習会」に一四名が参加しました。行きは「将軍杉」を観光し、旅館到着後、共済の学習会に。最初に高橋支部長が「駅前支部はついに全会員の共済会加入を達成できた」と協力への御礼を述べ、「共済会をよく勉強して健康を守り、一日楽しく過ごしましょう」とあいさつ。続いて9月の共済会総会で新たに副理事長に選出された小池早苗さんが総会の内容を報告。商売が大変な時だからこそ健康が大事で、より共済会活動が大事だと強調。配偶者加入を強め、秋の大腸がん検診に多くの人が受診する事を訴え、また講演「笑い与健康」が大変参考になったと感想を述べました。その後、佐藤専務理事から共済会の歴史とよく出される疑問をQ&A方式で話してもらいました。それらを受けて討論になり、「通院でも共済が出るのか」「安静加療の考え方はどうか」「配偶者扱いになる内縁とは」などの質問が出されました。学習会後は温泉につかり懇親会に。帰りは「道の駅」と「きのこ園」に立ち寄り、「まだ行きたい」の感想が多く出された楽しい一日となりました。

署名運動で全会員訪問進む！

石山支部・増税勢力に知事選で審判をと奮闘中

石山支部では、消費税の増税勢力に審判を下すには、まず知事選で増税に反対の意思を示すことが大事と全会員に呼びかけ、署名を大きく集めるために日夜、奮闘しています。

支部では9月に消費税についての学習会を開き、増税されてもくらしが良くなること、増税に頼らなくても財政が良くなる展望があることなどを学び合いました。初めて参加した会員さんの奥さんが、パート先で同僚に「増税なんて大企業と大金持ちのためのものだから反対しようよ」と訴えるなどの変化が起きています。

これまでに8割以上の会員さんを訪問。現在の署名数は32名の会員さんが209筆の署名を集めています。訪問では「消費税が増税されたら商売は続けられますか？」と必ず問い掛けながら進めています。「今でも消費税を納税するのが大変なのに、増税されたらとても消費税を払えない」などの悲痛な声が出されています。

ある役員さんが訪問したところでは、署名用紙を3枚渡してきたところへ数日後に回収に行ったら全部署名欄が埋まっていて、会員さんたちが真剣に考えてくれていることを感じたそうです。支部では知事選投票日前日まで、連日副支部長の伊藤さん宅に集まり、行動する予定です。



木戸支部

署名をたくさん集めて
消費税の増税を阻止しよう！

母親大会報告会と交流進む

一〇月一日(木)に、はなみずきコミュニティハウスにて日本母親大会報告会を開催しました。報告会では参加された部員さんから大会の様子を説明してもらい、「全国から大勢の女性が集まって参加する日本母親大会に驚いた。女性のパワーに圧倒された」と感想が出されました。

また消費税増税問題について、先日行った支部での学習会の内容を報告。女性の視点から、社会保障(主に介護保険や医療の分野)では増税されても改善どころか、今以上に利用料や保険料の負担が増えることなどを話し合いました。増税によって大企業は更なる輸出戻し税がされること、また雇用についても派遣労働者は消費税の経費(正社員の給与は対象外)になることから、今後一層雇用が不安定化し景気が悪化することになるのではと不安は募るばかり。一人三〇署名を集めて、なんとしても消費税増税を阻止しようという決意を合いました。

